

# 令和5年度 西東京市立学校 学校経営計画

学校名	西東京市立田無第三中学校	校長名	東山 信彦
-----	--------------	-----	-------

## 教育理念及び教育目標

国際化、情報化、科学技術の進展する中において平和的な国家及び社会の形成者として自主的精神に満ちた人間の育成をめざし、教育目標を定める。

	重点目標	自治
・よく考え進んで実行する人間になろう		1 考える
・思いやりのある心豊かな人間になろう		2 思いやる
・丈夫な体をつくり心身ともに健康な人間になろう		3 やりぬく

## 学校の特徴

- 1 人権意識に根ざした教育  
人を大切にしながら自己の成長を図る、素直で心優しい生徒の育成を進める学校
- 2 学校規模を生かした教育  
個々の教員が、一人一人に主体性をもって多く関わり、生徒指導の基盤として、教育相談を重視し、生徒や保護者及び地域と信頼関係を築く学校
- 3 主体的学び手を育てる教育 ユニバーサルデザイン・集団思考デザイン・ICT教育に取り組むことで主体的に学ぶ生徒を育成する学校
- 4 「温故創新」を通して、伝統の継承と創造を行い、地域とともに歩む学校  
コミュニティスクールとして近隣小学校や地域と共に、生徒の健全育成を図る学校
- 5 主体的に「読書活動」に取り組む生徒を育成する学校

## 目指す学校像 (学校像、児童・生徒像、教師像)

目指す学校像「温故創新」「温かく活気あふれ、信頼される学校」

- ・確かな人間関係を基盤とし、安心して自らの能力を伸長できる学校 「温かな学校」
- ・生徒と教職員一人一人が明るく、活力のある学校 「活気あふれる学校」
- ・「安全・遵守・演出・効率」を理念とした組織である学校 「チーム田無三中」

目指す生徒像「知・徳・体のバランスの取れた生徒」

- ・社会自立に向け、自らを高め合う生徒 「自治」
- ・授業を大切にし、自ら考え、学び合う生徒 「考える生徒」
- ・共感と思いやりの心に根ざして、希望をもち将来を切り拓く生徒 「思いやる生徒」
- ・心身の健康増進に自ら努め、粘り強くやり抜く生徒 「やりぬく生徒」

目指す教師像「高い実践的指導力をもつ教師」

- ・授業力をはじめ、指導力を日々高め合う教師 「学び合う教師」
- ・人権尊重の理念を理解し、生徒の心に寄り添う教師 「寄り添う教師」
- ・教育公務員としての自覚をもち、信頼される教師 「信頼される教師」

## 学校経営の目標

### 1 中期経営目標（中間的課題）

- (1) 確かな学力の育成 「基礎学力」「思考力・判断力・表現力等」「主体的学び」育成  
西東京市研究奨励校として読書に取り組む生徒を育成
- (2) 豊かな心の育成 人権教育の推進を通して、豊かな心を育む。
- (3) 心身の健康と強い意志の育成 望ましい生活習慣や態度・強い意志の育成
- (4) 特色ある教育活動 温かく活気あふれる学校づくりと学校外との連携・創育
- (5) ライフ・ワーク・バランスの推進

### 2 短期経営目標（1に基づく本年度の重点目標）

- (1) 確かな学力の育成  
授業改善を進め「思考力・判断力・表現力等」を育むとともに学びに向かう力、人間性等を涵養する。また、家庭学習の習慣を促し、基礎学力の向上を図る。  
西東京市研究奨励校として、主体的に読書に取り組む態度を育成する。
- (2) 豊かな心の育成と道徳教育の推進  
寄り添う教育を推進する。教育相談を充実させ、自他共に尊重し合い、人権に関わるいじめ・虐待や問題行動等のない温かな学校づくりを行う。
- (3) 心身の健康と強い意志の育成  
「凡事徹底」、基本的な生活習慣の確立を図ると共にやりぬく力を鍛える。
- (4) 特色ある教育活動  
コミュニティスクールとして、外部人材の活用を図りながら、正しい人権意識を身に付け、民主的・平和的に自ら活動できる主体的集団を育てる。
- (5) ライフ・ワーク・バランスの推進  
業務改善と在校時間の縮減

## 具体的方策（短期経営目標を達成するための学校の具体的な取組）

- 1 確かな学力の育成
  - (1) 指定校研究成果を活用し、授業力向上を目指す。ユニバーサルデザインを底流とした授業の構造化を通して、「集団思考」活動を取り入れ、生徒が、「わかる。できた。」と実感できる授業づくりに取り組む。全教員による研究授業を実施する。
  - (2) 研究奨励に係る読書活動の推進や各教科等における対話等を充実させる。また、GIGA スクール構想に基づき、ICT 教育の推進や個別最適化学習の習慣化に取り組む。
- 2 豊かな心の育成と道徳教育の推進
  - (1) 教育相談的生徒指導を実施し、生徒の心に寄り添うために、いじめや生活に関する年6回の心のアンケートと年5回の面談を実施する。
  - (2) 生徒個々への支援や教え合い・学び合い・認め合いを通して、自尊感情や自己肯定感を高める指導を実践する。
  - (3) 情報の共有と迅速な対応を図っていくために、いじめ・虐待防止対策委員会を定期的に開催する。さらに、様々な兆候を確認したら、躊躇することなく、関係機関と連携を図る。
- 3 心身の健康と強い意志の育成
  - (1) 凡事徹底や『あ・じ・み』（挨拶・時間・身だしなみ）を生活目標に設定し、あいさつ運動・チャイム着席点検を各学期に設定する。
  - (2) 充実した行事等の豊かな体験活動を実施し、その経験の振り返りを通して達成感や有用感を醸成し、やり抜く力を育成する。
- 4 特色ある教育活動
  - (1) 「西東京あったか先生」として人権に対する正しい認識と共通理解を図るとともに生徒に自己決定の場・自己有用感を感じる場を設け、共感的人間関係を育成する。
  - (2) 学校生活（行事・生徒指導・校則等）見直しの取り組みを通して、教職員・生徒・保護者・地域社会に根ざした教育活動を展開する。
  - (3) 学校公開や学校HP・各種たより・奉仕活動・放課後カフェ等を通して、本校の教育活動やPTA活動を積極的に公開・発信し、信頼される学校づくりを進める。
  - (4) コミュニティスクールとして、家庭・地域等外部人材との連携・協力の推進  
生徒の多様な学びのために、学校外組織と連携をとり、行事等を共催する。
- 5 ライフ・ワーク・バランスの推進
  - (1) 情報共有・会議の効率化を図る。（過去の情報資産の整理と活用、電子データ回覧）
  - (2) 出退勤、勤務状況の適切な管理。週休日の変更や夏休の取得などを適切に管理し、休養を確実にとらせていく。
  - (3) 「チーム田無三中」で予防的生徒指導に取り組む。